



おなかも心もいっぱいに

# SECOND HARVEST NAGOYA PRESS

2013.2.15

NO.2

SECOND  
HARVEST  
NAGOYA  
NPO法人 セカンドハーベスト名古屋

発行元 NPO法人セカンドハーベスト名古屋

〒461-0018 名古屋市東区主税町3丁目33-マリア館1F

TEL052-932-2828 FAX052-982-6183

E-mail:info@2h-nagoya.org URL:<http://www.2h-nagoya.org/>

編集／印刷 橋本写真

## セカンドハーベスト名古屋と 笑顔の活動、始めませんか



### セカンドハーベスト名古屋理事長挨拶



この1年間、スタッフ  
とボランティアや関係者  
など多くの方々がたい  
へん貢献されました。  
以前よりもはるかに多い  
食料品を配る事ができ  
ました事に、心から感  
謝申し上げます。

ご存じのように地震と津波で被害を受けた東北  
地方の再建には時間を要しています。その為、多く  
の被災者の方がいまだに精神的にも経済的にも  
苦しんでおられます。さらに悪い事には、円高のた  
めに中国と韓国との競争も厳しさを増し、人々は  
経済的な困難に直面しています。日本の代表的な  
企業であるソニー、パナソニック、シャープなど軒  
並み苦戦しています。このような問題は、日本人の  
みならず外国人労働者をも直撃して、彼等の多くは  
帰国を余儀なくさせられました。すこし詳しく話  
しますと、リーマンショック(2008年9月15日)以  
来、日本の不景気のために当時30万人いた日系  
ブラジル人の内、12万人がブラジルに戻りました。  
しかし、残った人達も老齢期にさしかかった方  
も増えてきて、苦労を重ねています。

もちろんセカンドハーベスト名古屋はこのように

困っている全ての人に対応はできていませんが、  
毎年配布する数量は増えてきています。2012年  
は年末までに622トンの食品を配布しました。我々  
の配布する主な対象は、外国人労働者とその家族  
(29グループ)、次に日本人ホームレスや困窮者  
(27グループ)、そして社会福祉法人等(96グル  
ープ)です。

気がかりなのは、昨年までの活動はモリコロ基  
金等の財団の助成金に頼っていましたが、2013  
年からは運営資金を他の慈善団体や個人の方  
からの寄付に求めざるを得なくなっていることです。

我々は、何か食べる物を必要としている人達の  
ために働いていますが、それだけでなく他に大き  
な使命が存在しています。他に助けを求める事が  
できなかった人達が、我々の援助で希望を持てる  
ようになった事がたくさんあります。食品を受領さ  
れる時、彼等は単に空腹を満たすだけでなく精神  
的にも癒されています。我々が対応することで、  
彼等は自分達が大切な存在であり、忘れられない  
と気づきます。

2013年も頑張って働いて、必要とする人達に食  
べ物を提供しましょう。そして我々の努力で、彼等の  
心に希望の灯がともりますように。

2013年1月22日

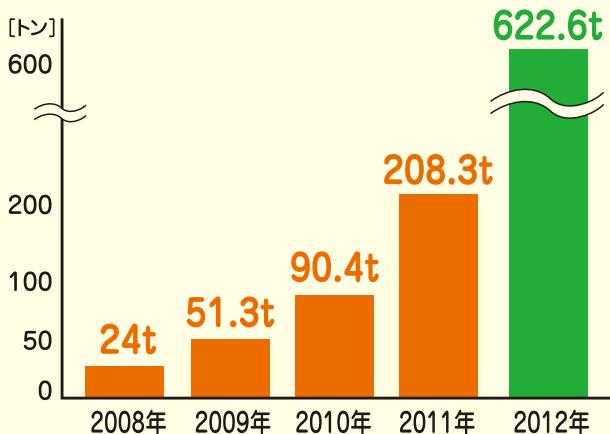
NPO法人セカンドハーベスト名古屋

理事長 ジョン・シーランド

## 2012年度セカンドハーベスト名古屋活動報告

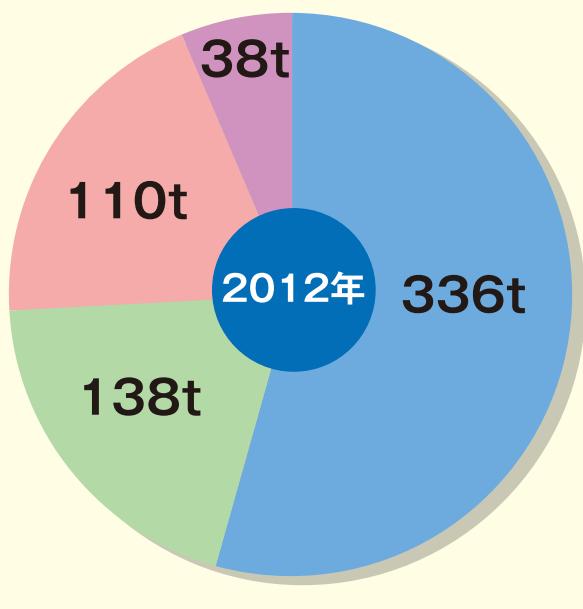
### ■取扱量

2012年の取扱量は622.6トン(前年比300%)と急激に増えました。これは1kg当たり600円で換算すると、3億7356万円相当もの食品を届けたことになります。



### ■配布先

2012年は寄付していただいた食品の半分以上を外国人支援団体へ配布しました。



■ 外国人支援団体 ■ 日本人支援団体  
■ 福祉団体  
■ その他(被災地支援を含む)

### ■ソーシャルメディアによる広報



ブログやフェイスブックにてセカンドハーベスト名古屋の活動を写真とともに楽しく真面目に紹介しています。

是非、ご覧ください。

ブログ(<http://2h-nagoya.blogspot.jp/>)

フェイスブック

(<https://www.facebook.com/2hnagoya>)

### ■東日本大震災被災者支援

ごはん応援箱PartⅡ、PartⅢにて被災地へ食品の詰合せをお届けしました。

ごはん応援箱とは協力者の方々に手紙を添えて食品の詰合せをつくりていただき、当団体が現地NPOなどを通して被災地へ届ける活動です。

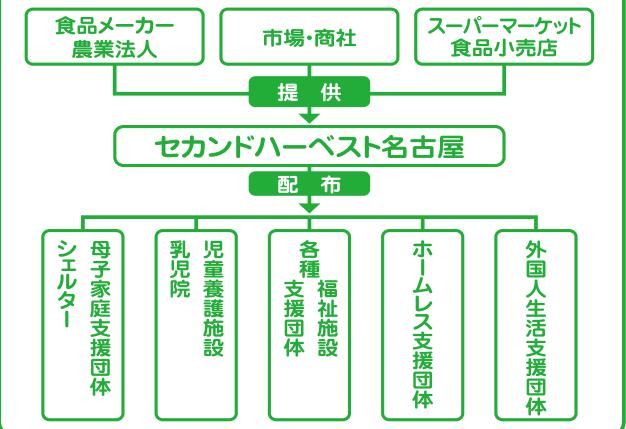
200名以上の協力者により1984個の応援箱を宮城県山元町、仙台市にお住まいの震災被災者、福島県福島市にお住まいの原発被害者の方々へお届けすることができました。

受け取った方から心のこもった御礼の手紙もいただき、被災地との繋がりができました。



### ■セカンドハーベスト名古屋とは？

品質に問題がないものの、印字ミスやパッケージの破損、賞味期限が近い等の理由で廃棄される運命の食品を提供してもらいます。そして、生活困窮者を支援している各種団体などを通じて、必要とする人々にその食品を配布しています。



# 特集!! 「AJU 自立の家」

こんにちは、事務局の山内です。当団体が食品をお渡ししている団体のひとつ「AJU自立の家」へ取材に行ってきました。

企業・個人から寄付していただき、セカンドハーベスト名古屋を通じて届けられた食品が、どんな人に、どんな様子で使われているのかを紹介します。AJU自立の家は名古屋市昭和区の住宅街の中にある社会福祉法人です。こちらの団体は「福祉の総合デパート」と呼ばれるほど様々な活動を行っています。知的障害者通所授産施設・車いすレンタル事業・介護保険事業・アルコール依存からの回復施設など本当に盛りだくさんです。

まず、当団体から食品が届くと車イスの方が「セカンドハーベスト名古屋の食品が来たぞ～!!」と各部署へ知らせにまわり、それぞれの部署の人が必要な分を持って行きます。

介護保険事業を行っている「ほかっと軒」では、当団体からの食品を学生ボランティアの方が独居のお年寄りへ届けています。厳しい生活をされている方への食糧支援の意味合いもありますが、何も持たず訪問するより

も何かお土産があると話がはずみ、健康状態や困っていることなど色々とおききすることができる効果があるそうです。学生ボランティアの方にこの活動で一番うれしかった出来事をおききすると、「食べ物を届けて、ありがとう。と感謝されるうれしいです！」と仰っていました。必要とする方の栄養、もらった人の喜び、届けた人の喜びなど



「AJU自立の家」名古屋市昭和区恵方町2-15 TEL052-841-5554



当団体からの食品が、沢山の人の笑顔をつくっていると感じました。

また、施設内での調理では利用者の人に「何が食べたい?」とききそのリクエストに応えて調理できる体制が整っており、セカンドハーベスト名古屋から来たものによってメニューを変えることもできるそうです。「だから、セカンドハーベスト名古屋から来た食品はすべて無駄なく使っています。」と仰っていました。また、業務用1斗缶入りの醤油は500mlのペットボトルに小分けし、20kgひとかたまりの味噌は小さなタッパーに小分けするなど、一人暮らしをしている利用者が使いやすいよう工夫されていました。さらに、「この食品はセカンドハーベスト名古屋からの食品です。本来は捨てられてしまう食品です。もったいないですよね。」など当団体のフードバンク活動をきちんと説明していただいたうえで渡していただいています。その他に企業からの食品引取を毎週お手伝いいただいているなど、ただ食品を渡す一もらうだけの関係ではない、一緒にフードバンク活動を行う仲間として協力していただいていることがわかりました。

今回の取材で、フードバンク活動は寄付していただく企業・個人の方はもちろん、食品を受け取るパートナー団体との協力によって成り立っていると感じました。(取材/事務局:山内大輔)



SECOND HARVEST NAGOYA

## 韓国のフードバンク視察

昨年9月、広島のあいあいネット理事長原田佳子さんのお誘いで韓国のフードバンクの視察に行ってきました。中京学院大学の小林富雄准教授も参加されました。

韓国は、経済の高度成長を続けていますが、一方で貧富の差が激しく、社会的弱者を救済するために国策としてフードバンクが全国に開設されています。その数は424カ所、またそれと併設される形で、生活困窮者が無償で食品を受け取れる売店(フードマーケット)が126カ所設けられています。

運営は社会福祉協議会が国からの委託を受けて、さらに救世軍などのキリスト教団体も実務にあたっています。食品企業も積極的に提供しており、サムソン電子の親会社にあたる第一製糖やLG物産等は専用の食品詰合せ箱を大量に用意しています。

また、韓国はキリスト教徒が国民の25%を占めて宗教心の厚い人達が多く、慈善活動も盛んで、それに加えて伝統的な敬老精神も強く、単に企業からの提供品を配るだけでなくそれ以上に米などの現物寄付や寄付金で足りないものを購入するという活動も並行して行われています。

私達が訪れたソウル市永登浦区社会福祉協議会のフードバンクでは、地域のお年寄りを対象にした洗濯サービスもされていて大きな洗濯機と乾燥機が据えられて、洗濯された衣類がクリーニング屋さんのようにきちんと並べてありました。

日本にはまだないフードマーケットは、区役所が認めた生活保護受給者やそれに準ずる人達が1カ月に5点分の食品を受け取ることができます。



売店には値段の表示はなくて、1点でどれだけもらえるか、商品の前に表示されています。ちなみにお米は全国どこでも1Kg2点です。冷蔵食品も冷凍食品も扱われていますが、企業から提供される食品だけでは品揃えが出来なくて現物寄付や寄付金を集め購入するのが大変のようでした。ソウル市内で何カ所か見学しましたが、どこも場所は一等地で職員の手数料は行政が負担するという恵まれた仕組みになっていました。

日本とは階層格差の程度の違いなどが背景にあって一概に比較する事はむずかしいですが、国民全体に互いに助け合おうという精神文化が豊かにあって、それに行行政が動かされている所は日本と大きく違うように感じました。これからの日本は、高齢者の生活困窮者の増加など、階層格差が確実に進むのですから、韓国の事例はこれから大いに参考になるでしょう。(取材/事務局長:本岡俊郎)



## 認定NPO法人へのご協力とご支援のお願い

認定NPO法人は、NPO法人の中でも、運営組織及び事業活動が適正で、公益を増進し、一定の基準を満たして所轄庁の認定を受けたNPO法人のことをいいます。認定NPOになると、その法人に寄付した個人や法人が税法上優遇されるメリットがあります。

当団体は認定NPO法人を目指しています。条件として2年間、毎年少なくとも100人の方から3000円以上の寄付を集めなければなりません。セカンドハーベスト名古屋のフードバンク事業を維持し発展させていくため、また生活困窮者支援活動など多くの方たちへ食べ物を届けるために、我々の活動にご協力とご支援をお願い致します。

### 銀行振り込み・郵便振り込みでの寄付はこちら

銀行口座：三菱東京 UFJ 銀行 栄町支店  
口座番号：普通 0015287  
口座名義：特定非営利活動法人  
セカンドハーベスト名古屋

郵便口座 ゆうちょ銀行：二一八支店  
口座番号：普通 3805775  
口座名義：特定非営利活動法人  
セカンドハーベスト名古屋